



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1. 校外のイベントへの参加

□ 第1回「ハイスクール世界サミット in 福島」～福島から世界へ発信する私たちの夢～安倍昭恵首相夫人を名誉顧問にお招きしいわきにて開催！(^0^)

日時 平成27年8月6日(木)7日(金)8日(土)

派遣先 東日本国際大学(いわき市)

参加校 国内18都道府県25校54名,海外12カ国20名

内容 平成27年8月6日 現地視察、ワークショップ(1)、高校生交流会

1日目 福島の現状と復興について考える

平成27年8月7日 ワークショップ(2)、高校生夕食会

2日目 ①福島からエネルギーと環境を考える

②福島の再生(まちづくり)を考える

平成27年8月8日 ワークショップ(3)

派遣人数 生徒2名 教員1名

□『第1回SGH「食」に関するフォーラム』 渋谷教育学園幕張高等学校

日時 平成27年11月21日(土)

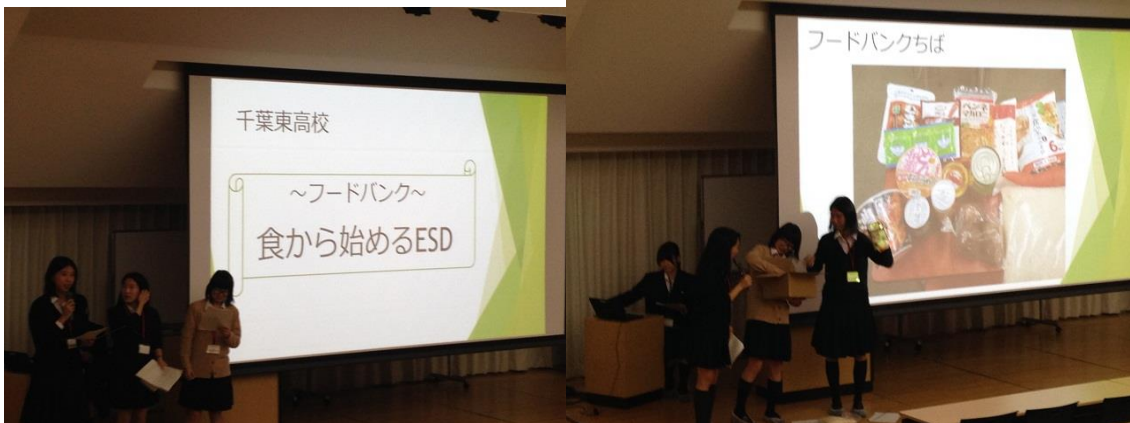
主催 渋谷教育学園幕張高等学校

参加校 県内高等学校

内容 フォーラムでは、渋谷幕張高校の生徒の皆さんとユネスコスクールの高校生が、それぞれプレゼンテーションを行い、交流を図りながら、「食」に関する諸問題を考えてみました。

千葉東高生徒の発表 テーマ「フードバンク」

発表 1年 内山花菜 戸田菜々子 長谷部真桜 松本弥桜

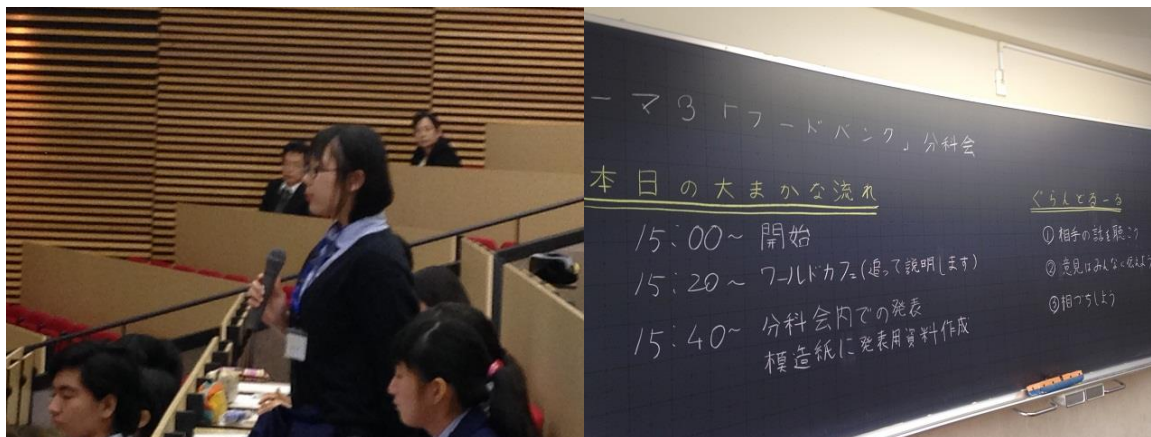


★ 「フードバンク」を知っていますか？

家庭や企業で捨てられかけた食材を集め、食べ物に困っている人に提供する仕組みの「フードバンク」。千葉東高校の近くで活動している『フードバンクちば』の活動に接しながら、「食」から始めるESDについて考えてみました。

(ESD…Education for Sustainable Development 「持続可能な開発のための教育」環境、貧困、人権、開発といった様々な地球規模の課題について、自分のこととしてとらえ、その解決に向けて自分から行動を起こす力を身に付けるための教育です。)

★世界の飢餓状況と日本の食糧廃棄率」について問題を提起しながら、「私たちが考える、理想のフードバンク」について活発な議論を交わしました。



★いくつかの質問を受けました。

分科会の様子



左 ★ファシリテータを中心にポスター作成

右 ★渋谷幕張高校生の活動 「食に関するフェアトレード」

参加生徒の感想

今回参加して、準備していった甲斐があったなと思いました。このような機会がなければフードバンクについて知ること他の学校の人と熱い議論を交わすことも無かったと思うので、良い経験になりました。今後もフードバンクや議論したことについて考え続け、実際の活動に繋げていくことが大切だと思います。私たちのプレゼンが、多くの人がフードバンクを知るきっかけ、フードバンクについて深く考えるきっかけになったのがとても嬉しかったです。(内山、戸田、長谷部、松本)



## 2. フェアトレードチョコレート校内予約販売による募金活動

販売期日 平成 26 年 2 月 4 日～ 5 日

売り上げ 119,600 円

寄付金 34,408 円 この寄付分は世界寺子屋運動へ募金しました。

### 目的

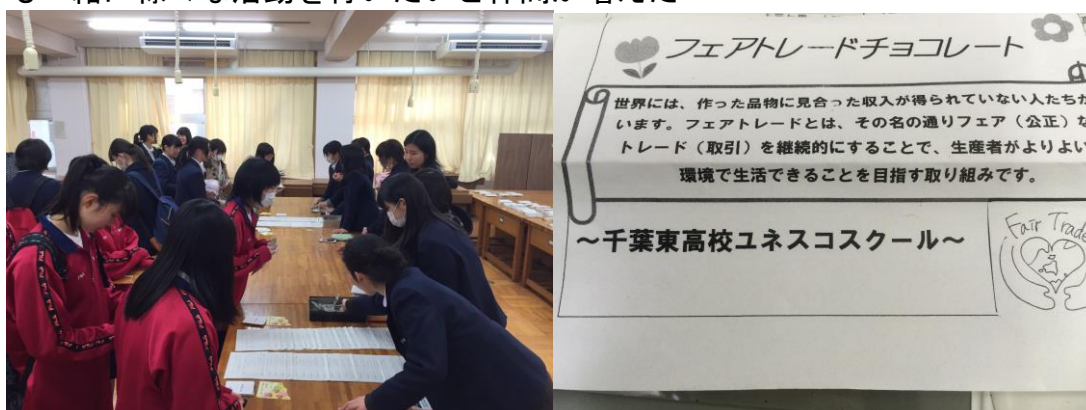
- ・ 身近な国際協力に参加してもらおう（バレンタインの時期に合わせて）
- ・ 生徒にフェアトレードについての理解を深めてもらう
- ・ イベントを通じてユネスコスクールの校内活動を広める

### 内容

- ・ 高校生に身近なバレンタインの時期に販売することで集客力を上げた。
- ・ 1年生、2年生に販売のお知らせを教室に配り、フェアトレードの仕組みなども紙上で説明した。
- ・ 事前にフェアトレードの研究をされている大学の先生のところへ行き勉強会をさせていただいた。
- ・ よりわかりやすく伝えるためフェアトレードのマークや説明の文言を自分たちで考えて作った。
- ・ 上記の文言を使いフェアトレードを説明したオリジナルのカードを作り、チョコレート包装した。

### 感想

- ・ 予約販売だったため売れ残りはなかったが、予約をしていなくて、
- ・ チョコを見てから欲しくなったという人もいた。
- ・ この予約販売は2年目の取り組みだがまだまだ広報が難しいと感じる。
- ・ 購入してくれた人が、フェアトレードのことを知ってくれたように感じられた。
- ・ 普段のチョコより高額であるにもかかわらず、たくさん購入してくれた人も多かった。
- ・ 先生の手もお借りしながら、生徒で企画・販売ができた。
- ・ 今回、ユネスコスクールの生徒（7人）だけでなく、ボランティア同好会も生徒も協力してくれて、このユネスコスクールの活動に興味を持ってくれた。今後一緒に様々な活動を行いたいと仲間が増えた



## 3. ESD をテーマにした教職員の国際交流

期日 平成 27 年 8 月 22 日～29 日

派遣先 ソウル、全羅南道、釜山

内容 全羅南道順天八馬高校学校訪問・ESD 実践事例の視察、順天旺之小学校交換授業、全羅南道教育庁視察、ホームビジット

派遣数 教員 1 名

## 参加教員の感想

日本との教育制度の違いをたくさん発見し、また高校生の勉強量の多さに驚いた。教育庁の施設やサーバー室などを見学し、予算をかけて進んだ取り組みを行っていたことは見習わなければいけない。韓国企業や国の技術が教育を支援している点に、国としての教育の重要度が伝わってきた。更に ICT をどのように現場で使いこなしているのか、教材や学校施設の面からさらに興味を持った。

### 4. 校内の活動

#### 国際理解

##### ① 有識者講演

日時 平成 27 年 4 月 11 日（土）

対象 1 年生 367 名

講演者 千葉大学エグゼクティブ・アドバイザー 岩本 渉 氏

テーマ 「学ぶということ」

内容 ユネスコ、持続可能な開発のための教育(ESD)、グローバル人材とは。

##### ② 幕張アジア総合アカデミー・アジア総合学科「アジア・アフリカを知ろう！」

日時 平成 27 年 11 月 28 日（水） 2 限～5 限

対象 1 年生 367 名

講師 ナイジェリア連邦共和国、パキスタンより 2 名

内容 自国の政治、経済、文化、習慣などについて英語で紹介。

##### ③ 千葉大学留学生との交流会（グローバル人材プロジェクト）

日時 平成 27 年 12 月 14 日（月）

対象 本校希望生徒約 50 名、市立稲毛高等学校より希望生徒数名

講師 モロッコ、ガーナ、韓国、コスタリカ、中国からの 5 名の留学生

目的 異文化理解、体験

書き損じはがき回収運動 合計 79 枚（3,293 円相当）の寄付

校内へのユネスコスクール周知活動

昨年度 3 名→今年度 10 名への活動生徒の増加

### 5. 県内高校 13 校や異校種との連携

千葉県ユネスコスクール連絡協議会の開催

開催日時

第 1 回連絡協議会 平成 27 年 6 月 15 日（土）

千葉大学ユネスコ大会 平成 27 年 8 月 24 日（土）

第 2 回連絡協議会 平成 27 年 12 月 19 日（土）

第 3 回連絡協議会 平成 27 年 1 月 23 日（土）

第 4 回連絡協議会 平成 28 年 3 月 19 日（土）千葉大学 SGH 成果報告会

目的 生徒の交流を重視しながら教員同士の連絡体制を整え、各校の活動の情報を共有する。

成果

- ・学校の枠を超えて生徒同士のコミュニティができた。
- ・生徒がファシリテーターをしながら話し合いをする機会を持つことができた。
- ・連絡協議会事務局として各校の先生方と連携を持つことができた。

国立千葉大学（SGU:スーパーグローバルユニバーシティ）との連携  
成果 千葉大学 ESD 事務局と連携し、上記平成 27 年 8 月のユネスコ大会や平成 28  
年 3 月の SGH 成果報告会にて、生徒の発表の機会をいただくことができた。

特別支援学校の参加

今年度より、第 1 回目の連絡協議会から 2 校の参加していただいている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）